

様の見直し等行いたい。立支援法施行後の問題について

### 個性豊かで活力ある 三鷹市の実現を

政新クラブ 六戸 治重 議員



市長 市長は次期市長選挙に出馬の意思表示をした。力強い決意を伺いたい。

市長 来期も市長としての責務を果たしていきたい。

議員 地方分権のもとで市民は、高環境・高福祉、持続可能な行政運営を行う自治体を求めている。そのためには自治体のリーダーシップが必要だ。4年間の市政運営の総括と今後の取り組みを伺う。

市長 市民参加と協働の歩みを重ね、市政を前進させることができた。引き続き21世紀型の創造的自治体にすべく努力していきたい。

議員 三位一体の改革は市政に影響を及ぼす。今後の予算編成方針や自主財源確保への取り組みを聞く。

### コールセンターを設置し 市民サービス向上を図れ

政新クラブ 白鳥 孝 議員



議員 都内の自治体でコールセンターの設置が相次いでいる。コールセンターの設置には市の業務全体をデジタル化し、インターネットで公開するという大きな利点がある。また、市民からの問い合わせ内容を蓄積・整理・分類し、市民ニーズを明らかにするなど、その意義は十分あると考える。自治体におけるコールセン

ター設置の動きについて、総務省の取り組みを聞く。

市長 総務省では、有識者研究会が報告書を提出したことを踏まえ、サービス内容等の検討を進めている。

議員 会派視察で訪れた札幌市のように、人口が多い自治体では、行革の観点からも有効な手段となるが、本市で設置した場合の事業効果については検証が必要

だ。三鷹市として、コールセンター設置の可能性をどう考えているか伺う。

市長 本市の人口規模や財政規模で実施していくことは、経費の問題などさらに調査・研究が必要である。

議員 インテリジェント・コミュニティ世界一の三鷹市として、市民が必要とする

### 「団塊の世代」と共に 豊かなまちづくりを

政新クラブ 伊藤 俊明 議員



議員 常に新しい事にチャレンジしてきた団塊の世代が、定年後も社会的に現役であり続け、自己実現を図ることは非常に大きな意味をもつと考える。退職・引退を迎え、地域での生活が中心となる団塊の世代は、ある意味「新たな市民」とも言え、コミュニティの重要な担い手として期待される。豊富な知識と経験を持つ団塊の世代は都市の活力を維持する上でも重要な存在である。こうした人々が地域で活躍したり、豊かなセカンドライフをおくれるよう支援する、より多様なインフラを整備すべきだ。

市長 多様な受け皿を整備し地域活動等に参加しやすい環境整備を進めたい。

議員 これまで地域活動に縁のなかつた団塊の世代には地域でのセカンドライフに踏み出す最初の一步となるような支援が必要だ。コミュニティビジネスサロンや三鷹ネットワーク大学での各種講座の実施など、ニア世代の活躍を支援する取り組みにこうした観点を取り入れ、より充実した取り組みを行ってほしい。

市長 キャリアや生活を分断することなく、スムーズに次のキャリアやライフスタイルに移行できるように支援を市がコーディネートしながら、NPO等の団体・機関との協働の中で取り組みを進めていきたい。

議員 今後の方向性を聞く。

市長 適切に情報を整理・活用するとともに、多様な情報手段を活用して、市民生活に必要で役立つ情報の積極的な提供に努めたい。

議員 インテリジェント・コミュニティ世界一の三鷹市として、市民が必要とする

情報やサービスの提供をどのように実施していくのか。今後の方向性を聞く。

議員 平成18年度中に実施予定である、第3次基本計画の第2次改定の中で整合性を図っていきたい。

議員 少子高齢社会に対応できる安定した財政を維持するには、経常収支比率の改善や、さらなる行政改革による行政全般のスリム化・効率化に取り組む必要がある。所見を示せ。

市長 今後も、効率的な運営ができるよう努めたい。

議員 いじめや必修科目の未履修など、教育現場の信頼感が薄れる事件が続発している。教育の環境整備や教員の指導力の向上などが必要だ。取り組みを聞く。

教育長 公教育の質の向上をしっかりと確保できるよう取り組んでいきたい。

議員 常任新しい事にチャレンジしてきた団塊の世代が、定年後も社会的に現役であり続け、自己実現を図ることは非常に大きな意味をもつと考える。退職・引退を迎え、地域での生活が中心となる団塊の世代は、ある意味「新たな市民」とも言え、コミュニティの重要な担い手として期待される。豊富な知識と経験を持つ団塊の世代は都市の活力を維持する上でも重要な存在である。こうした人々が地域で活躍したり、豊かなセカンドライフをおくれるよう支援する、より多様なインフラを整備すべきだ。

市長 多様な受け皿を整備し地域活動等に参加しやすい環境整備を進めたい。

議員 今後の方向性を聞く。

### 新たな時代における 福祉行政の課題を問う

政新クラブ 後藤 貴光 議員



議員 平成18年8月、「社会福祉法人経営の現状と課題」と題する報告書を、経営者、厚生労働省職員など

が、取りまとめた。報告書は介護に民間事業者が参入しサービスの質を競争する昨今、従来型の規制と助成

による施設管理から自立と責任のある法人経営への転換や、法人の統廃合の必要性を指摘している。税制面で優遇される社会福祉法人は、営利企業にとつて採算に合わないサービスを提供するなど、支援に見合う役割を果たす必要がある。そこで、市が社会福祉法人に求める役割について聞く。



在宅の子育て家庭への支援をさらに充実してほしい…のびのびひろば

### 歴史教育の充実と 子育て支援を問う

政新クラブ 加藤 久平 議員



議員 学習指導要領では、小学校6年間の国語の授業時数は1千377時間だが、歴史は小学5年生まで授業がない。さらに小学6年生の歴史の平均授業時数は68時間位だと聞いた。中学校の歴史授業も同様の傾向だ。高校では、日本史が選択科目で世界史は必修だが未履修問題が起きている。歴史授業の時間は十分とは言えない。大きな時代の流れを理解させる指導をしている。

議員 幼児期の保育・教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものだ。本市の平成18年度予算によると、家庭保育の予算は約5千400万円だが、施設保育(学童保育所・児童館分を除く)の予算は約43億円だ。予算配分の平等性の観点から、家庭保育と施設保育の

関係について伺う。

市長 施設保育の運営の中には、家庭保育支援の内容も多く含まれている。例として、保育園や子ども家庭支援センターが、在宅子育て家庭へのサポート事業などを展開している。

議員 連雀通りまちづくり協議会は、連雀通り商店街の道路の拡幅による安全な道づくりと商店街の活性化を目指して活動している。このプロジェクトは、商店主だけでなく、地域住民、行政、大学の研究者などの参加を得て、現在驚くほどダイナミックな動きになってきた。中核となる店主や住民を行政がサポートすれば、三鷹市まちづくり条例の求める、市民からの提案につながる動きを導き出せる。行政側から、さらなる市民への周知と政策的誘導が必要だ。

市長 都市計画課に地区計画支援担当を設置し、積極的に支援している。市民自らが市民に説明する機会を

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振

### 具体的まちづくりを 住民・行政協働で進めよ

政新クラブ 田中 順子 議員



議員 連雀通りまちづくり協議会は、連雀通り商店街の道路の拡幅による安全な道づくりと商店街の活性化を目指して活動している。このプロジェクトは、商店主だけでなく、地域住民、行政、大学の研究者などの参加を得て、現在驚くほどダイナミックな動きになってきた。中核となる店主や住民を行政がサポートすれば、三鷹市まちづくり条例の求める、市民からの提案につながる動きを導き出せる。行政側から、さらなる市民への周知と政策的誘導が必要だ。

市長 都市計画課に地区計画支援担当を設置し、積極的に支援している。市民自らが市民に説明する機会を

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振

議員 伊能忠敬と並ぶ探検家として北海道の名付け親である松浦武四郎が伊勢神宮や法隆寺など由緒ある神社仏閣古材を使った書斎「一疊敷」を建てた。これを昭和9年、大沢に移築し茶室等を含んだ別荘とした。絶景の富士山にちなみ泰山荘と名付けられた別荘は、現在

国際基督教大学構内に保存されている。世界に誇れる歴史的建造物で評価も非常に高い。文化財・観光資源として保存・活用すべきだ。

市長 活用には所有者・関係者との調整が必要だ。観光資源や関連施設をネットワーク化し、設立予定の観光協会等との協働で観光振